



有限会社 アド・ループ



作業の内製化・効率化を進め、 低予算で期待以上の提案を目指したい

当社は創業時に店舗設計からスタートし、看板や販促物の製作からロゴマークのデザイン、空間コーディネートなど幅広い分野にわたる広告・販売戦略を、企画から施工までトータルに手がけています。本事業を通じて作業の機械化を図ったことで、これまで手作業に費やしていた時間やコストが軽減でき、予算内でお客様の期待を超える提案ができる体制が整いました。また、導入した機械を活用した製品の商品化に向けて取り組んでいます。今後も作業効率を高め、より良い企画やデザインでお客様の信頼度を高めていきたいと思っております。

代表取締役専務 渡辺 恵利子

ものづくり技術 小規模型 設備投資

事業計画名 自動切削機でのQ・C・Dと生産性向上による競争力の強化

課題

- 手作業による精度不足や納期の長期化
- 品質の安定化
- 従業員の身体的負担

取組

- 自動切削機の導入
- 試作による品質・コスト・作業時間の検証
- 3次元製作の実現に向けた試作・検証

成果

- 製品不良ゼロを実現
- コスト削減と納期短縮の目標を達成
- 3次元製作の内製化
- 従業員の負担軽減で、女性・高齢社員も作業が可能に

取組への経緯

主体事業である看板製作においては、これまで手作業による製作が多く、精度不足や長期間の納期、経験年数による品質のばらつき、従業員の身体的負担など、さまざまな課題を抱えていた。こうした現状から、品質の安定や時間短縮を目指すためには、機械の導入によって手作業から自動化への移行を図ることが不可欠と考えた。また機械導入で内製化が実現することにより、外注委託が削減でき、一貫生産体制をもとに他社との差別化を強化することも狙いとした。



ジグソーによる従来の手作業は、品質が経験年数に左右されていた

事業概要

パソコンで作成したデザインデータをもとに、素材を自動でカットする自動切削機を導入し、その操作方法をマニュアル化。カルブ・アルミ複合版・アクリルと、使用頻度の高い素材で試作品を製作して品質を検証したほか、カルブ素材を用いた試作品を製作する際に、5つの工程に要する作業時間を計測した。同時に、従業員の負担軽減や安全性の実現も、実際に作業を行う中で確認している。また、これまで外注に頼っていた3次元製作についても、木材を使用した試作品で品質等を確かめた。



導入した自動切削機RL1324Vサーボモーター仕様

取組成果活用状況

試作を通して、従来の電動鋸やジグソーによるカットに比べ、製品不良ゼロを実現。文字を切り抜く際、直線やアールのラインも精度が高く、手作業の時には必要だったバリ取り作業もほとんどなくなった。こうした作業効率向上から、納期も10日間を要していたものが3日間に短縮。内製化が実現したことで外注費も含めたコストも大幅に削減でき、目標達成度101%に至った。

従業員の身体的負担についても、機械導入によって立ったまま作業を実施できるようになり、1台で複数の加工が可能となったため、重い材料を乗せ換える手間も半減。その結果、女性社員や高齢社員でも作業に従事できるようになり、人材のさらなる活躍にも可能性を感じている。

さらに、木材への高精度な3次元製作が可能となったことで、より幅広い提案や商品開発の発想が広がった。現在、教育施設等において木製サインを提案するほか、自社のオリジナル製品の商品化に向けて試作に取り組んでいる。



切り文字などもパソコン上でレイアウトでき、作業時間も短縮



木製の3次元作成が可能となり、新たな事業展開につながっている

COMPANY INFORMATION

有限会社 アド・ループ 【その他の製造業】

〒509-7201 恵那市大井町2695番地37
TEL.0573-26-5388 FAX.0573-25-7545

動画を
チェック



- 代表者/代表取締役 渡辺 敏夫
- 設立/平成9年4月1日(創業 昭和57年12月)
- 資本金/300万円
- 従業員数/27人
- 事業内容/広告戦略・販売戦略の企画・提案・デザイン・制作・施工
- HP/http://www.adloop.jp
- E-mail/watanabe@adloop.jp